

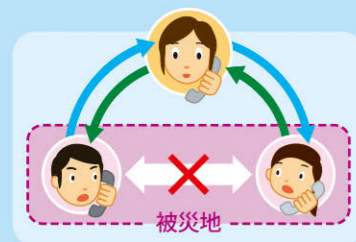
●避難場所・集合場所

災害の種類	避難場所 第1候補	避難場所 第2候補	集合場所(避難場所出会えないとき)
土砂災害			
洪水			

●家族・知人の連絡先

名前	血液型	電話番号	メールアドレス	メモ

家族が離ればなれになったときの連絡先:



被災地外の親類や友人に連絡の中継をもらおう

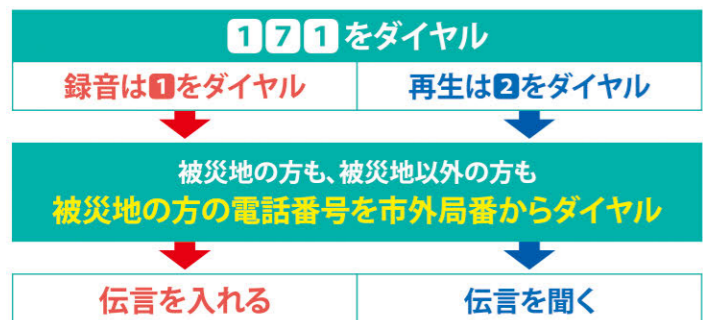
- 被災地の中同士では電話がつながりにくい状況でも、被災地から外に向けての連絡は比較的つながりやすい場合があります。
- 遠くに住む親類や友人を連絡先としてあらかじめ決めておき、いざというときに中継してもらう方法も有効です。

災害用伝言サービス

地震や洪水などの大災害発生時は、電話利用が急激に増加し、電話がつながりにくい状況が続くことがあります。このような場合は、以下のサービスが開設されます。

災害用伝言ダイヤル 171

災害用伝言ダイヤル(171)は、大規模な災害が発生したときの「声の伝言板」です。電話を用いて安否情報(伝言)の録音・再生を行うことができます。



災害用伝言板(web171)

スマートフォン・携帯電話・パソコン等から災害用伝言板(web171)にアクセスすることで、テキストによる安否情報(伝言)の登録・確認を行うことができます。

下記URLへアクセスし、案内に従って操作してください
<https://www.web171.jp/>

※上記の他に携帯電話各社から「災害用伝言板サービス」が提供されます。利用方法については各社ホームページ等でご確認ください。

災害用伝言ダイヤル(171)・災害用伝言板(web171) 体験利用日
▶毎月1日と15日▶正月(1月1日~1月3日)▶防災週間(8月30日~9月5日)
▶防災とボランティア週間(1月15日~1月21日)

庄原市 防災マップ



口和地域版

市では、住民のみなさんに防災に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくことを目的に、「庄原市防災マップ」を作成しました。このマップを活用し、各家庭で災害に備えましょう。

発行 令和4年3月

庄原市 総務部危機管理課
広島県庄原市中本町一丁目10-1
TEL:0824-73-1111(代表)

●いざというときの連絡先

火事・救急 119 警察 110

機関名	電話番号	機関名	電話番号
庄原市役所(代表)	0824-73-1111	庄原警察署	0824-72-0110
庄原市役所口和支所	0824-87-2111	口和駐在所	0824-87-2233
三次消防署	0824-63-1192		
三次消防署口和出張所	0824-87-2455		

庄原市防災マップの使い方

自宅周辺の危険な箇所を確認しましょう

- あなたの家やよく行く場所を地図上でさがしましょう。
- あなたの家やよく行く場所の周辺には、危険な箇所がありますか？



避難場所までの経路を確認しましょう

- あなたの家から避難場所まで、どのくらいの時間がかかりますか？
- 避難場所までの経路に浸水想定区域（浸水のおそれがある区域）や土砂災害の危険箇所、いつも冠水する場所がありますか？
- 市が指定した避難場所に行けないときに、安全を確保できる場所がありますか？

実際に避難場所まで歩いてみましょう



- 避難場所までの経路にある危険な場所をチェックしましょう。
○道路の側溝 ○用水路 ○高い崖 ○谷の出口 等
- 夜間でも避難できるような街灯はありますか？
- 避難経路沿いに避難を呼びかけていく住宅等がありますか？

わが家の避難計画をたてましょう

- 避難場所までの所要時間や危険箇所の状況から、避難のタイミングを決めておきましょう。（▶29・30ページ）
- 避難を判断するために必要な情報の入手先を確認しましょう。（▶29・30ページ）
- 非常持ち出し品・非常備蓄品の準備と確認をしましょう。



台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に
避難行動判定フローを確認しましょう



平時に
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取り組みましょう**

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

■浸水の危険があっても、次のような場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。
▶洪水により家屋が倒壊、または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
▶浸水する深さよりも高いところにいる。
▶浸水しても水・食糧などの備えが十分にあり、水がひくまで我慢できる。

ご自身、または、一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

はい

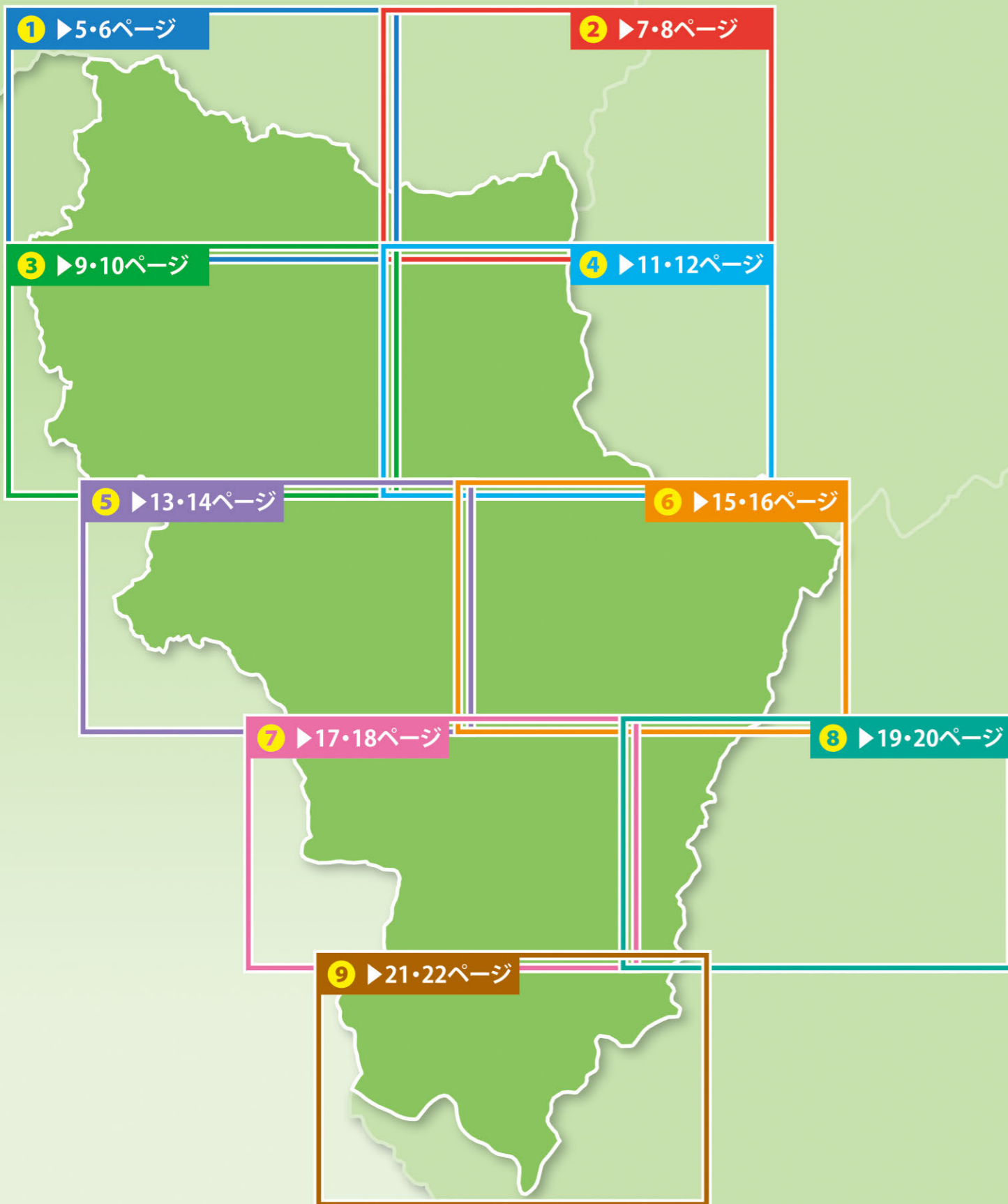
いいえ

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル3が出たら、市が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう。

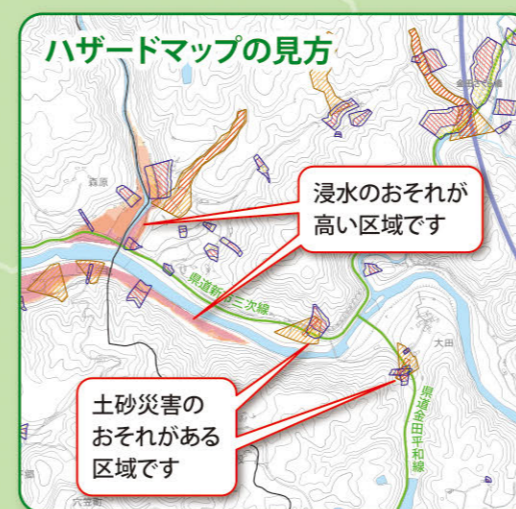
警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル4が出たら、市が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう。



指定緊急避難場所(市が指定)

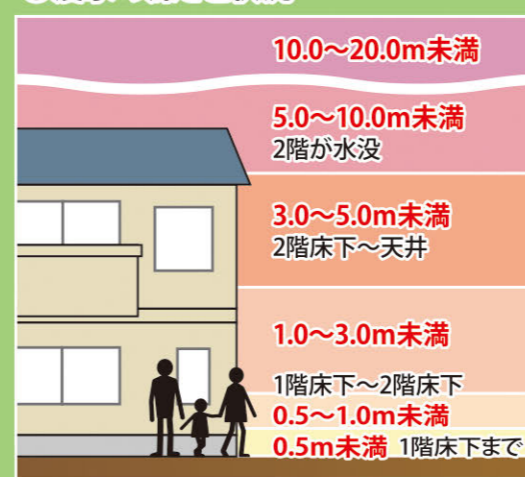
種別	名称	所在地	電話番号
第1開設避難所	口和自治振興センター	口和町向泉934番地4	0824-87-2213
	口和小学校	口和町永田3番地2	0824-89-2116
指定避難所	口和老人福祉センター	口和町永田415番地4	0824-89-2320
	口和コミュニティセンター	口和町向泉389番地1	0824-87-2111(市)
	口和中学校	口和町向泉527番地1	0824-87-2301
地域避難所	湯木ふれあいプラザ	口和町湯木1195番地1	0824-87-2019
	常定集会所	口和町常定351番地2	0824-89-2357
	大月集会所	口和町大月215番地4	0824-87-2359
屋外避難場所	口和総合運動公園	口和町湯木1250番地1	0824-87-2111(市)



- 指定緊急避難場所
災害対策基本法に基づき市が指定し、一時的に避難者の安全を確保する施設又は場所
- 第1開設避難所
市が最初に開設する避難所
- 指定避難所
大規模な災害等が発生した場合に、一定期間、避難者が滞在できる施設
- 地域避難所
必要に応じて開設する、地域の集会所等
- 屋外避難場所
大規模な地震の時などに避難する、駐車場やグラウンド等

浸水想定区域図

●浸水の深さと状況



●避難行動

- 早めの避難が必要な区域です**
- ▶ 浸水しない場所へ避難してください。
 - ▶ 氾濫がすでに始まっている場合などは、近くの安全な場所へ避難してください。
-
- ▶ 原則浸水しない場所へ避難しましょう。
 - ▶ 周囲が危険な場合は、屋内の安全な場所で待機しましょう。

※地図に示した浸水の深さは、「想定し得る最大規模の降雨」によるものです。

土砂災害警戒区域等

●土砂災害警戒区域とは…

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

●土砂災害特別警戒区域とは…

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制・建築物の構造規制等が行われます。

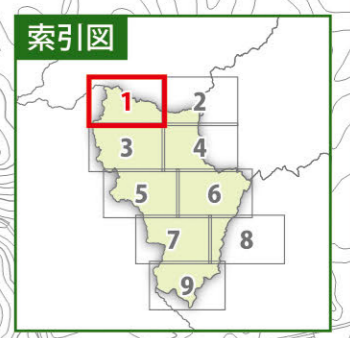
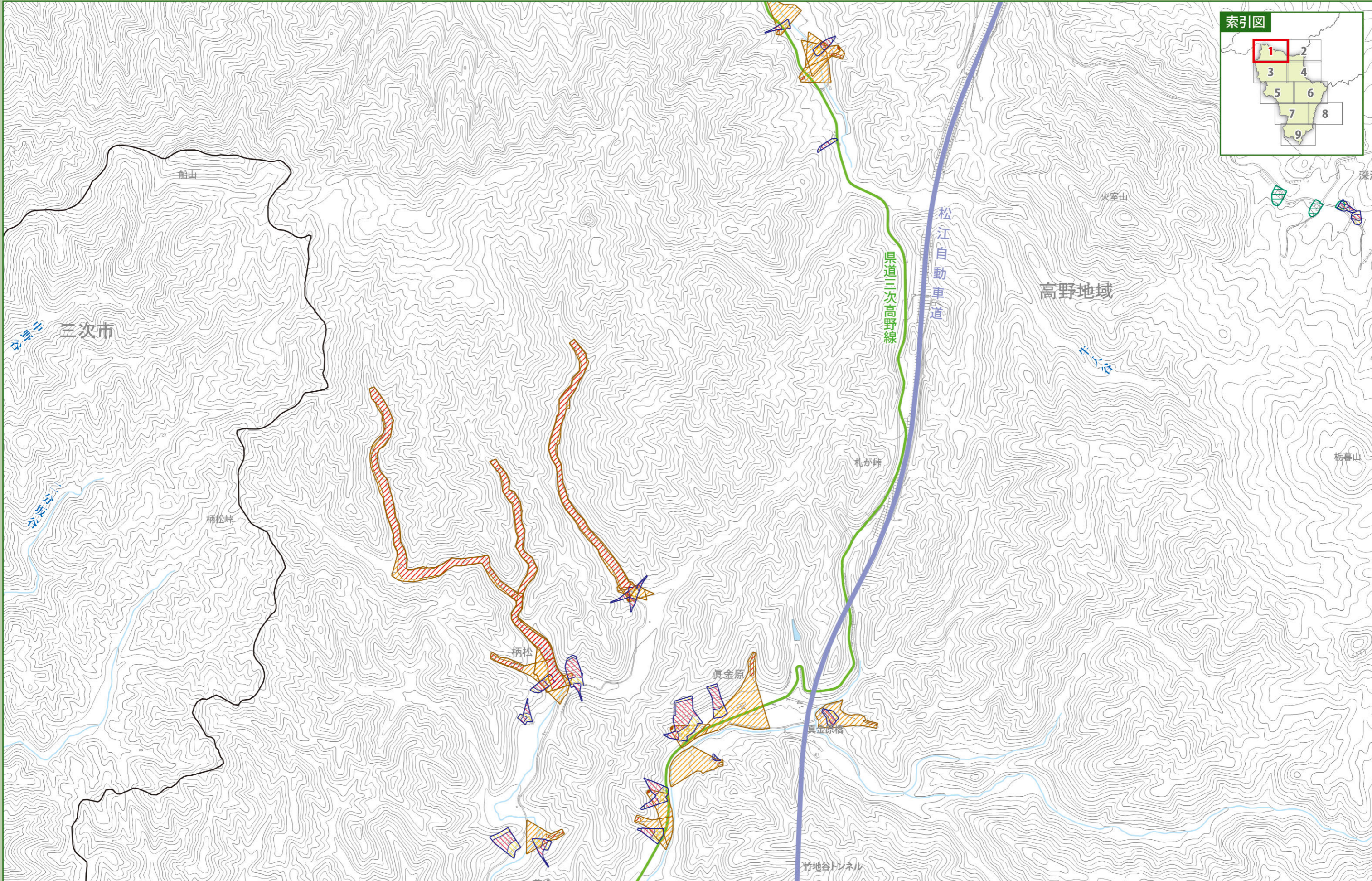


凡例

- 第1開設避難所
- 指定避難所
- 地域避難所
- 屋外避難場所
- 要配慮者利用施設
- ヘリポート
- 警察
- 消防
- 病院
- 役所
- 高速道路
- 県道

- 浸水深
- 10.0m~20.0m未満
 - 5.0m~10.0m未満
 - 3.0m~5.0m未満
 - 1.0m~3.0m未満
 - 0.5m~1.0m未満
 - 0.5m未満

- 土砂災害 (特別)警戒区域
- 急傾斜地の崩壊
 - 土石流
 - 地すべり
 - 特別警戒区域
 - 警戒区域
 - 警戒区域
 - 警戒区域



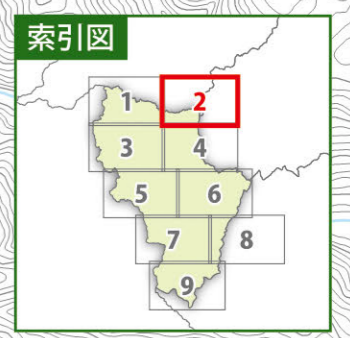
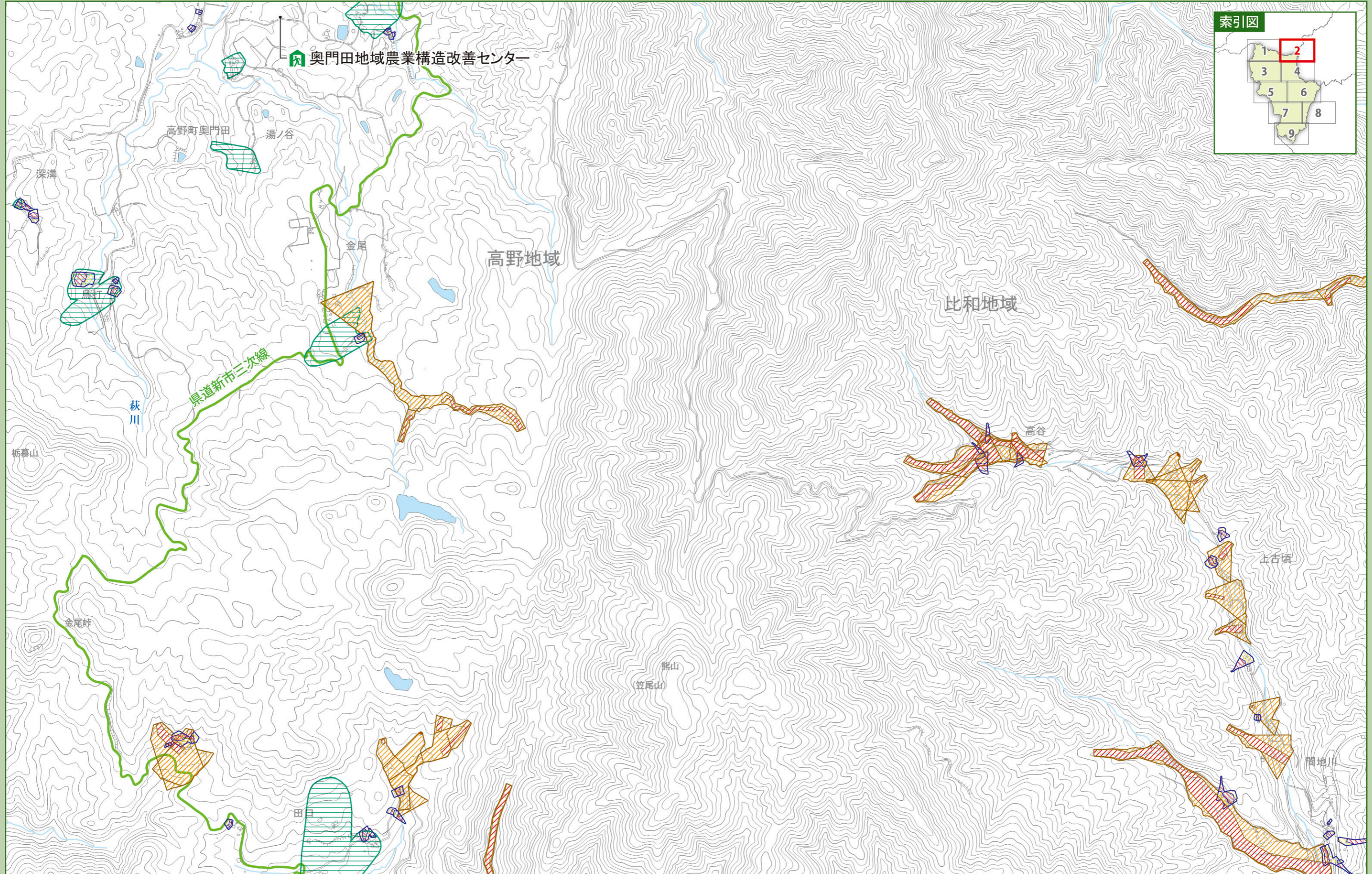
第1開設避難所	屋外避難場所	警察	役所	高速道路
指定避難所	要配慮者利用施設	消防	消防	県道
地域避難所	ヘリポート	病院		

浸水深

10.0m~20.0m未満	1.0m~3.0m未満
5.0m~10.0m未満	0.5m~1.0m未満
3.0m~5.0m未満	0.5m未満

土砂災害 (特別)警戒区域

急傾斜地の崩壊	土石流	地すべり
特別警戒区域	特別警戒区域	警戒区域
警戒区域	警戒区域	警戒区域



凡例

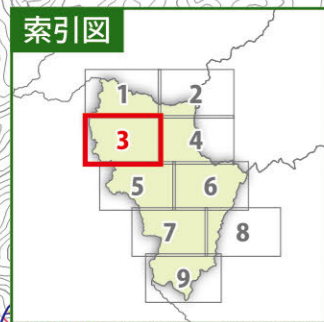
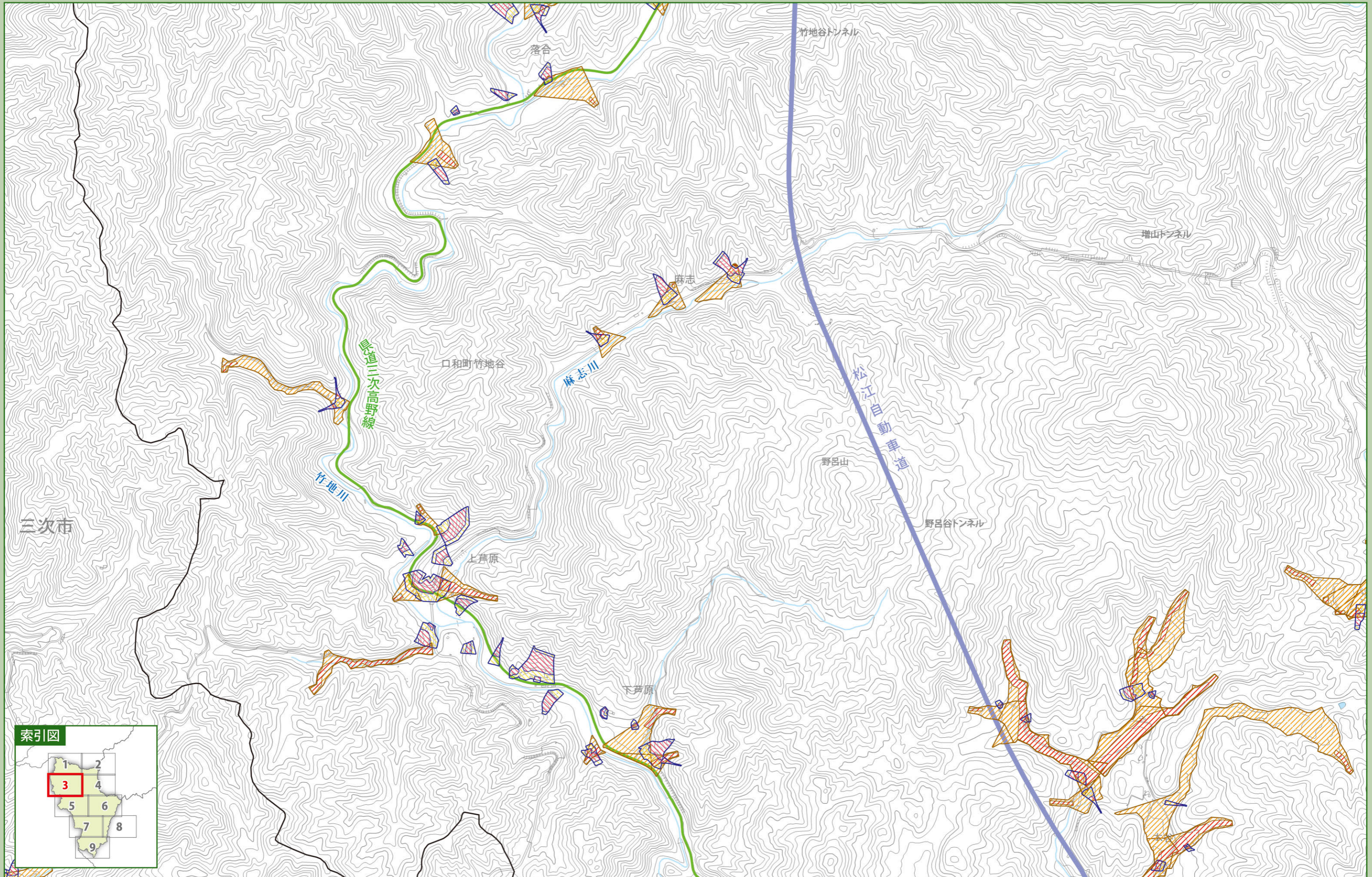
- 第1開設避難所
- 指定避難所
- 地域避難所
- 屋外避難場所
- 要配慮者利用施設
- ヘリポート
- 警察
- 消防
- 病院
- 役所
- 高速道路
- 県道

浸水深

- 10.0m~20.0m未満
- 5.0m~10.0m未満
- 3.0m~5.0m未満
- 1.0m~3.0m未満
- 0.5m~1.0m未満
- 0.5m未満

土砂災害 (特別)警戒区域

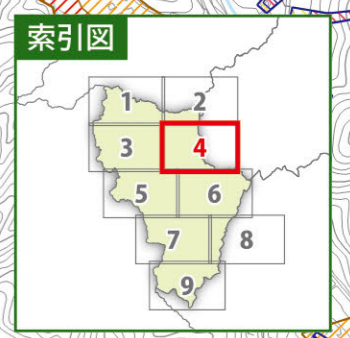
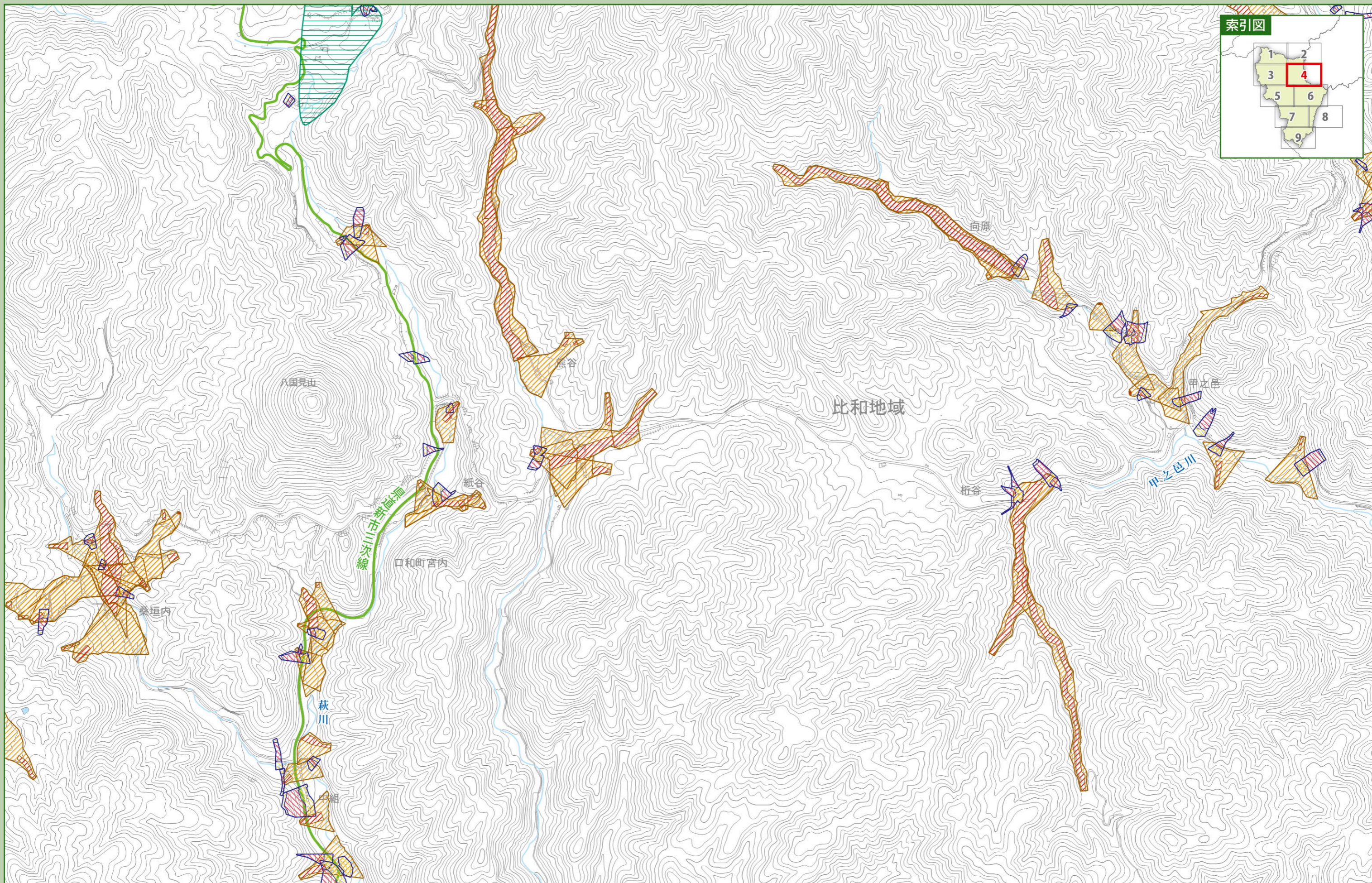
- 急傾斜地の崩壊
- 土石流
- 地すべり
- 特別警戒区域
- 警戒区域
- 警戒区域
- 警戒区域



- 第1開設避難所
- 指定避難所
- 地域避難所
- 屋外避難場所
- 要配慮者利用施設
- ヘリポート
- 警察
- 消防
- 病院
- 役所
- 高速道路
- 県道

- 10.0m~20.0m未満
- 5.0m~10.0m未満
- 3.0m~5.0m未満
- 1.0m~3.0m未満
- 0.5m~1.0m未満
- 0.5m未満

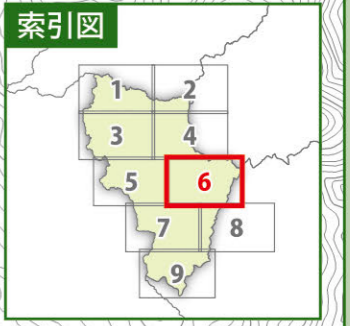
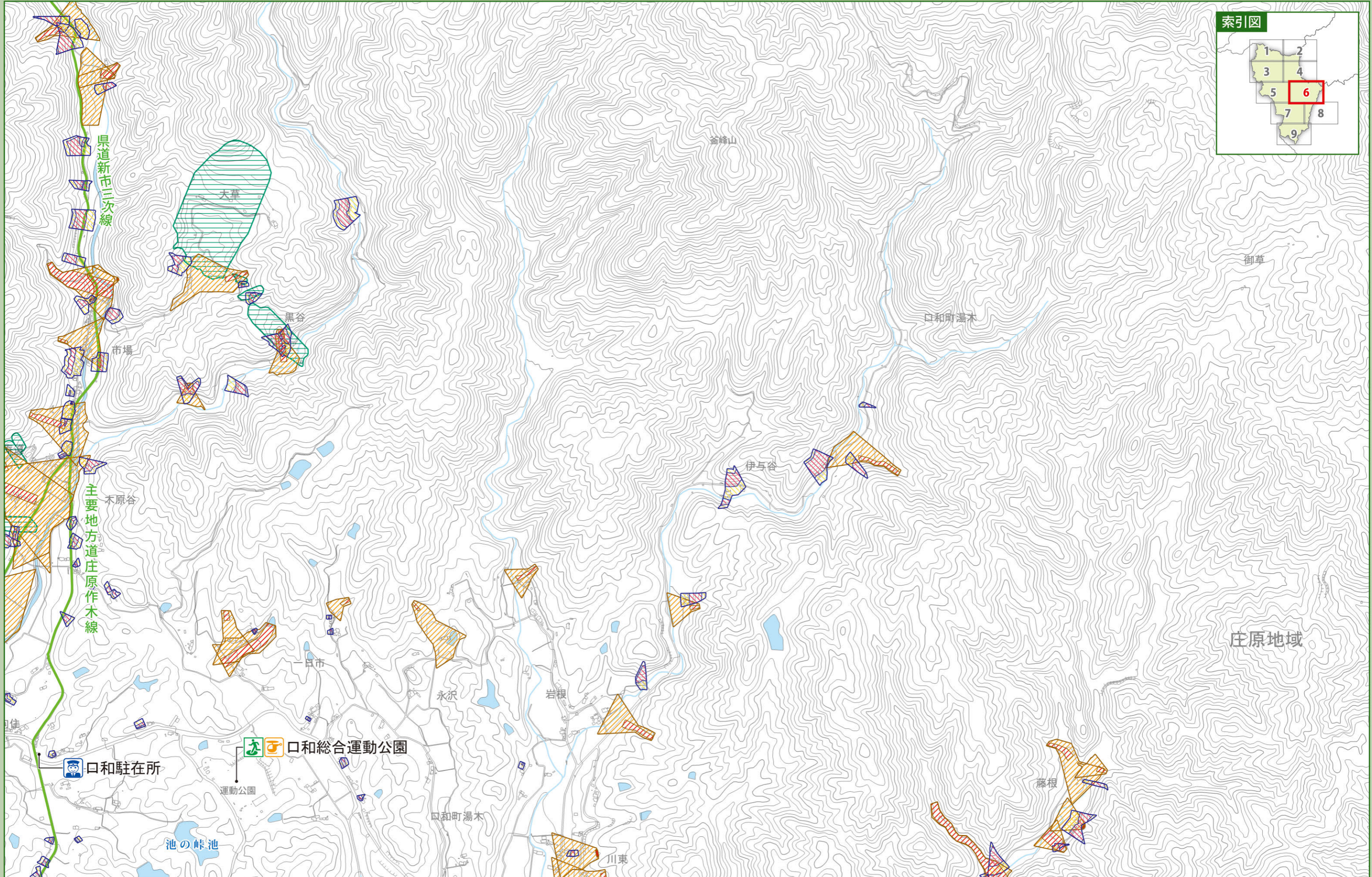
- 急傾斜地の崩壊
- 土石流
- 地すべり
- 特別警戒区域
- 警戒区域
- 警戒区域
- 警戒区域



- 第1開設避難所
- 指定避難所
- 地域避難所
- 屋外避難場所
- 要配慮者利用施設
- ヘリポート
- 警察 役所
- 消防 病院
- 高速道路
- 県道

- 10.0m~20.0m未満
- 5.0m~10.0m未満
- 3.0m~5.0m未満
- 1.0m~3.0m未満
- 0.5m~1.0m未満
- 0.5m未満

- 急傾斜地の崩壊
- 土石流
- 地すべり
- 特別警戒区域
- 警戒区域
- 警戒区域
- 警戒区域



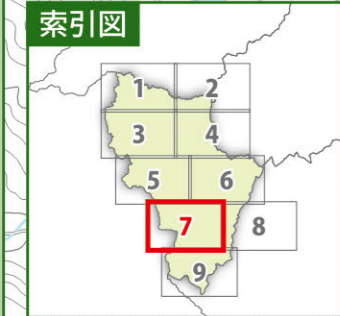
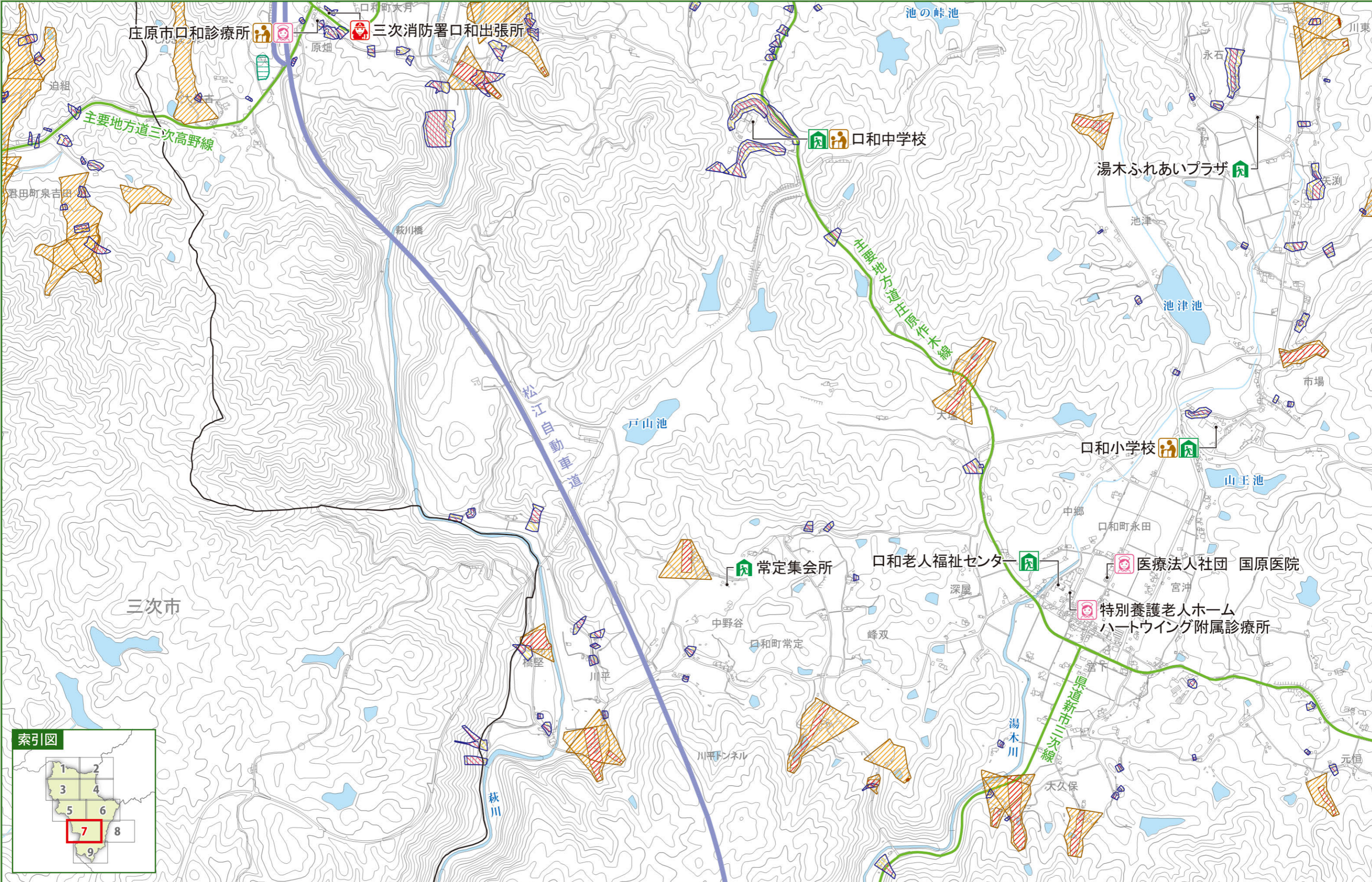
	第1開設避難所		屋外避難場所		警察		役所		高速道路
	指定避難所		要配慮者利用施設		消防		病院		県道
	地域避難所		ヘリポート						

浸水深

	10.0m~20.0m未満		1.0m~3.0m未満
	5.0m~10.0m未満		0.5m~1.0m未満
	3.0m~5.0m未満		0.5m未満

土砂災害 (特別)警戒区域

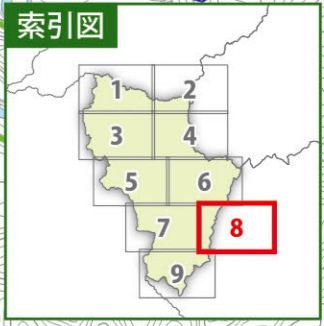
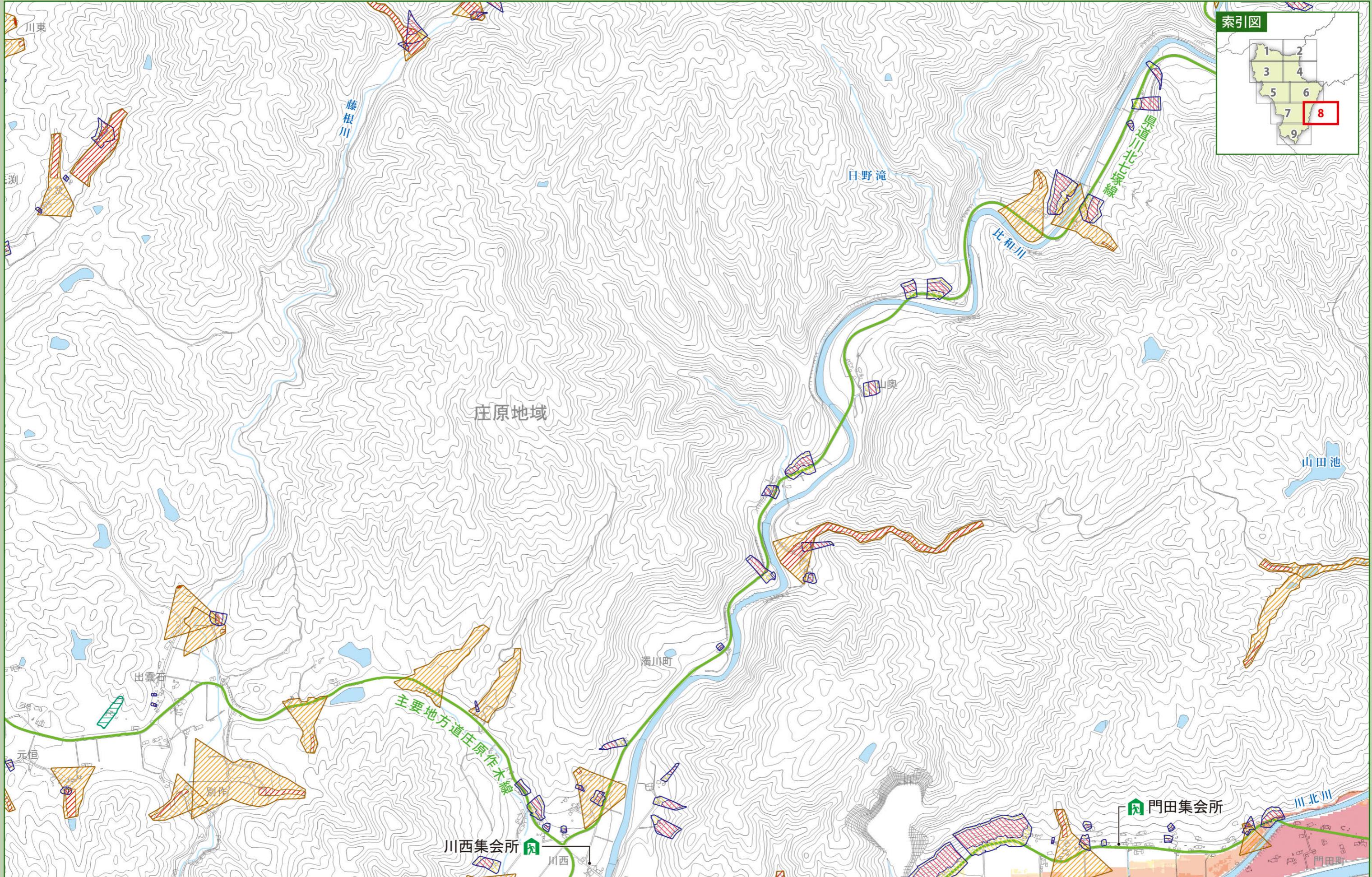
	急傾斜地の崩壊		土石流		地すべり
	特別警戒区域		特別警戒区域		警戒区域
	警戒区域		警戒区域		警戒区域



- 第1開設避難所
- 指定避難所
- 地域避難所
- 屋外避難場所
- 要配慮者利用施設
- ヘリポート
- 警察
- 消防
- 病院
- 役所
- 高速道路
- 県道

- 10.0m~20.0m未満
- 5.0m~10.0m未満
- 3.0m~5.0m未満
- 1.0m~3.0m未満
- 0.5m~1.0m未満
- 0.5m未満

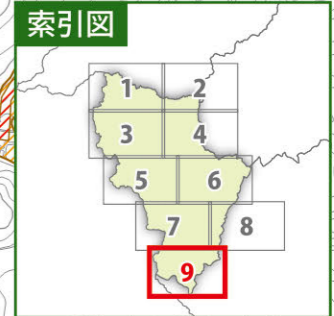
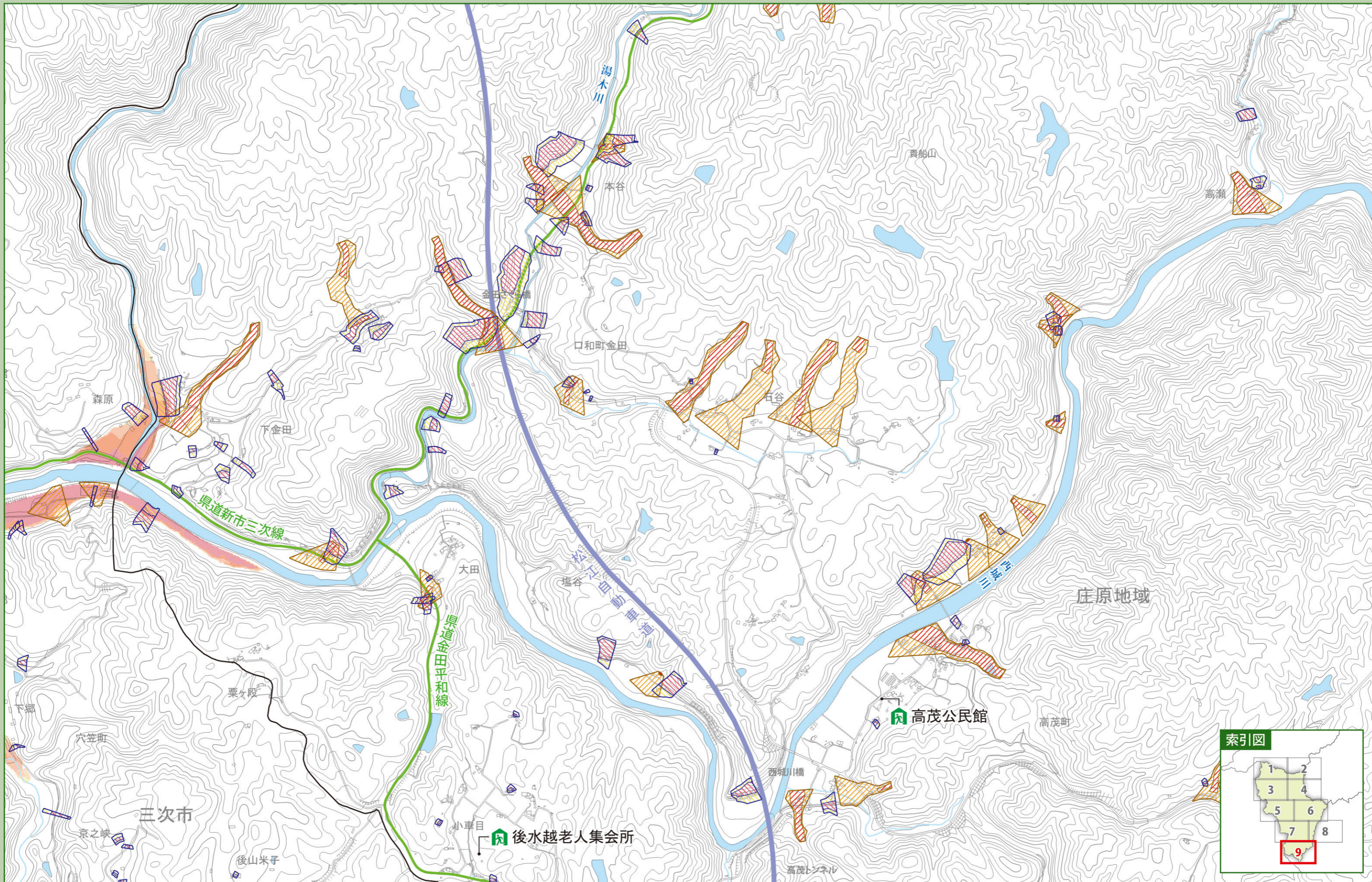
- 急傾斜地の崩壊
- 土石流
- 地すべり
- 特別警戒区域
- 警戒区域
- 警戒区域
- 警戒区域



- 第1開設避難所
- 指定避難所
- 地域避難所
- 屋外避難場所
- 要配慮者利用施設
- ヘリポート
- 警察
- 消防
- 病院
- 役所
- 高速道路
- 県道

- 10.0m~20.0m未満
- 5.0m~10.0m未満
- 3.0m~5.0m未満
- 1.0m~3.0m未満
- 0.5m~1.0m未満
- 0.5m未満

- 急傾斜地の崩壊
- 土石流
- 地すべり
- 特別警戒区域
- 警戒区域
- 警戒区域
- 警戒区域



安全に避難するため、警戒レベルを参考にしましょう

土砂災害や水害の危険があるときには、市から警戒レベル「高齢者等避難」、警戒レベル4「避難指示」を発令します。市からの避難情報に合わせて、速やかに安全な場所へ避難しましょう。また、警戒レベル相当の防災気象情報も参考にしましょう。

i 避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川やがけから少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、その時点で最善の安全確保行動をとることも重要です。

●警戒レベルと、みなさんがとるべき行動

避難情報等			河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)
警戒レベル	避難情報等	みなさんがとるべき行動	避難行動を取る際に参考となる防災気象情報
警戒レベル5 災害発生又は切迫	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保!	氾濫発生情報 大雨特別警報(土砂災害)
≡≡≡ ≪警戒レベル4までに必ず避難!≫ ≡≡≡			
警戒レベル4 災害のおそれ高い	避難指示	危険な場所から 全員避難	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
警戒レベル3 災害のおそれあり	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難	氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報
警戒レベル2 気象状況悪化	大雨・洪水注意報	自らの 避難行動を確認	氾濫注意情報 大雨注意報 洪水注意報
警戒レベル1 今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報	災害への 心構えを高める	早期注意情報

※河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)を発令するため、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

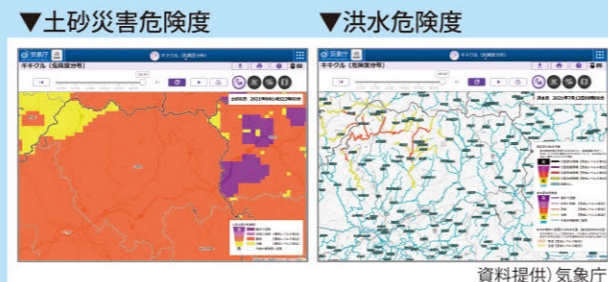
※警戒レベルは低い順から出るとは限りません。いきなりレベル4「避難指示」を発令することもあります。

※気象庁が発表する大雨(土砂災害)・洪水警報等の防災情報は、下記サイトで閲覧できます。

気象庁が発表する 大雨(土砂災害)・洪水警報等の防災情報

警報・注意報やキキル(危険度分布)等、気象庁が発表するあなたの街の防災気象情報を確認することができます。

あなたの街の防災情報 検索 🔍 見たい地域を選択 ➡ キキル(危険度分布)



土砂災害と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。

これらが発生するときには、多くの場合、何らかの前兆現象が現れます。下記のような前兆現象を確認したら速やかに避難するとともに、市役所(Tel 0824-73-1111)へご連絡ください。

広島県では、土砂災害の危険性がある箇所について、土砂災害防止法に基づく調査を実施し、「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」を指定しています。(↓4ページ)

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)	土石流	地すべり
<p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p> <p>地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。</p>	<p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p> <p>長雨や集中豪雨などによって、山や川の石や土砂が、大量の水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。</p>	<p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p> <p>大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたりゆっくりと動き出すものをいいます。</p>

こんなときは要注意		土砂災害の前ぶれ(前兆現象)		
		がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)	土石流	地すべり
五感	移動主体	山・斜面・がけ	水	樹木
	視	がけ	水	その他
		音	音	音
		におい	におい	におい

※上記は一般的な前ぶれです。すべての場所において必ず起きるといったものではありません。

土砂災害警戒情報が発表されたら…

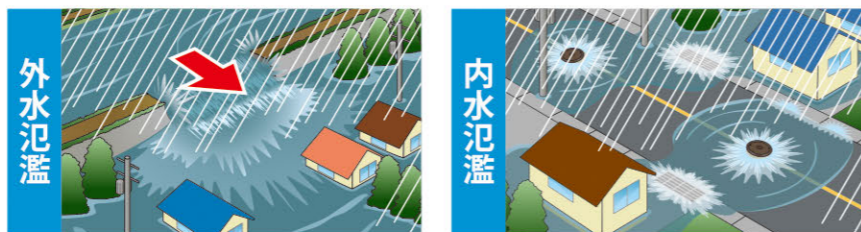
土砂災害警戒情報とは、大雨警報の発表中に、土砂災害発生の危険度が高まったとき、広島県と広島地方気象台が共同で発表する情報です。

土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒し、市からの情報を入力して避難してください。また、土砂災害警戒区域内にいる場合は、ただちに避難してください。



洪水と浸水被害

洪水には、川の堤防が壊れたり堤防から水があふれたりして発生する氾濫(外水氾濫)と、降った雨が水路や下水道などで排水しきれなくなるにより起こる氾濫(内水氾濫)があります。

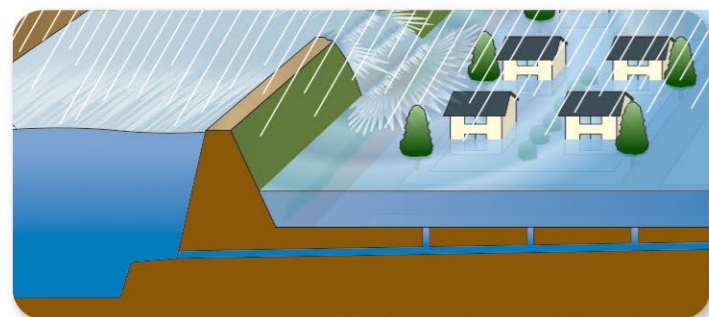


非常に激しい雨が降ると…

●雨水が下水道や道路側溝などで排水できずに溜まります。



●さらに雨が降り続けると、大きな河川の水位が上昇し、中小河川の排水が難しくなり、あふれ出すおそれがあります。



●堤防が決壊すると、大きな被害が発生します。

内水氾濫の発生
外水氾濫(洪水)の発生

浸水想定区域

近年多発している水害の激甚化を考慮し、県は西城川において最悪の事態を想定した「想定し得る最大規模の降雨」を前提とした降雨による浸水想定を行いました。

防災マップに表示した「浸水想定区域」は、この**想定最大規模の降雨**である「西城川流域の24時間の総雨量が385mm」で堤防が決壊した場合の浸水想定区域図を複数箇所の決壊地点で作成し、これらを重ねて合わせて表示したものです。

- この浸水想定区域は、河川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものであり、支川の氾濫や想定を超える降雨、内水による氾濫等を考慮していないため、この浸水想定区域に指定されていない区域でも浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 大雨が予想されるとき、低い土地にお住まいの方は、早めの避難をおすすめします。



洪水ポータルひろしま 検索Q

「洪水ポータルひろしま」では、法律で指定された洪水浸水想定区域図の他、大雨の時に浸水する可能性のある地域を示した「洪水リスクマップ」も確認できます。

水位情報

西城川は、洪水により大きな被害が生じるおそれがある「水位周知河川」に指定されており、河川の水位が決められた水位になると県や気象庁から水位の情報が発表されます。また、川の水位情報は、県の防災webをはじめ、29・30ページに示したサイトで確認することができます。

●西城川の水位情報

水位の名称等	発令される避難情報(目安)	内容	基準水位
氾濫の発生	氾濫発生情報	—	西城川 観測所 石丸
氾濫危険水位	氾濫危険情報	洪水により相当の家屋浸水等の被害が生じる氾濫のおそれがある水位。	4.85 m
避難判断水位	氾濫警戒情報	市町村長の避難指示等の発令判断の目安、住民の避難判断の参考。	4.15 m
氾濫注意水位	氾濫注意情報	市町村長の避難情報等の発令判断の目安、住民の氾濫に関する情報への注意喚起、水防団の出動の目安。	2.65 m
水防団待機水位 — ぶだんの水位 —	—	水防団が出動のために待機する。	—

住宅の浸水被害を防ぐためには

雨水が侵入しないように土のう、止水板を設置することや、普段から道路の側溝などを掃除して、雨水が排水できるようにしておくことで、住宅の浸水被害を防ぐことができます。



出入りにブルーシート等で包んだ土のうを置き、雨水の侵入を防ぎます。



出入りに長めの板などを設置して、水のうなどで固定して、浸水を防ぎます。板がない場合は、テーブル・タンス・ロッカー・畳などで代用することも可能です。



道路の側溝や雨水ますの集水口(グレーチング)に落ち葉などが詰まっていないか確認しましょう。詰まっていたら、取り除いておきましょう。

思わぬ場所からの浸水を防ぎましょう

住宅の周辺が浸水すると、下水が逆流して、トイレ、風呂場や洗濯機の排水口などから水が噴き出ることがあります。ビニール袋に水を入れた水のうを置くと、逆流を抑える効果があります。



避難の心得

いざという時のために、日ごろから避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。

状況により、すばやく避難しましょう
 避難情報などが発表されていなくても、雨の状況などから判断し、自主的に避難しましょう。

家族には連絡メモを残そう
 外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくといいでしょう。

防災メモを持とう
 高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。

集団で助け合おう
 単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

車での避難は控えて
 車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。

安全なルートで避難
 避難所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

持ち出し品は最小限に
 非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。

避難所では指示に従いましょう
 避難所に着いたら、係の人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。

●立退き避難(水平避難)と垂直避難
 災害では、早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けましょう。このような場合は、がけや浸水区域から離れる(立退き避難)だけでなく、近隣の高い建物やがけから離れた自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)も考えましょう。

避難行動要支援者への避難支援

避難行動要支援者とは高齢者や障がいのある方、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方々などのうち、災害発生時に自ら避難することが困難で何らかの支援が必要な人々のことです。地域で協力しあいながら、安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

高齢者・病人
 ●おぶって安全な場所まで避難する。
 ●複数の介助者で対応する。

肢体の不自由な方(車椅子)
 ●階段では2人以上が必要。●上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。●介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。

目の不自由な方
 ●声をかけ情報を伝える。●誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩く。

耳の不自由な方
 ●話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
 ●手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

風水害への備え

風水害による家屋の被害を抑えるために、日頃から家の周りの点検や整備を行いましょう。

外壁
 ●モルタルの壁に亀裂はありませんか

ベランダ
 ●植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか

ブロック
 ●傾きやひび割れ、破損している箇所はありませんか

排水溝
 ●側溝や雨水ますにゴミや土砂はありませんか

窓
 ●窓枠のがたつきはありませんか
 ●雨戸のがたつきはありませんか

屋根・雨どい
 ●不安定なアンテナはありませんか
 ●トタンがめくけていませんか
 ●瓦のひび・割れ・はがれはありませんか
 ●雨どいにゴミや木の葉は溜まっていませんか

板塀
 ●板塀に腐りや浮きはありませんか
 ●板塀に支柱はありますか

その他
 ●ガスボンベ(プロパンガス等)は固定されていますか
 ●商店などでは看板のぐらつきはありませんか
 ●ゴミ箱や植木鉢などは、飛ばないように固定していますか
 ●庭木には添え木をしていますか
 ●窓ガラスが飛散しないような対策をしていますか

非常持ち出し品

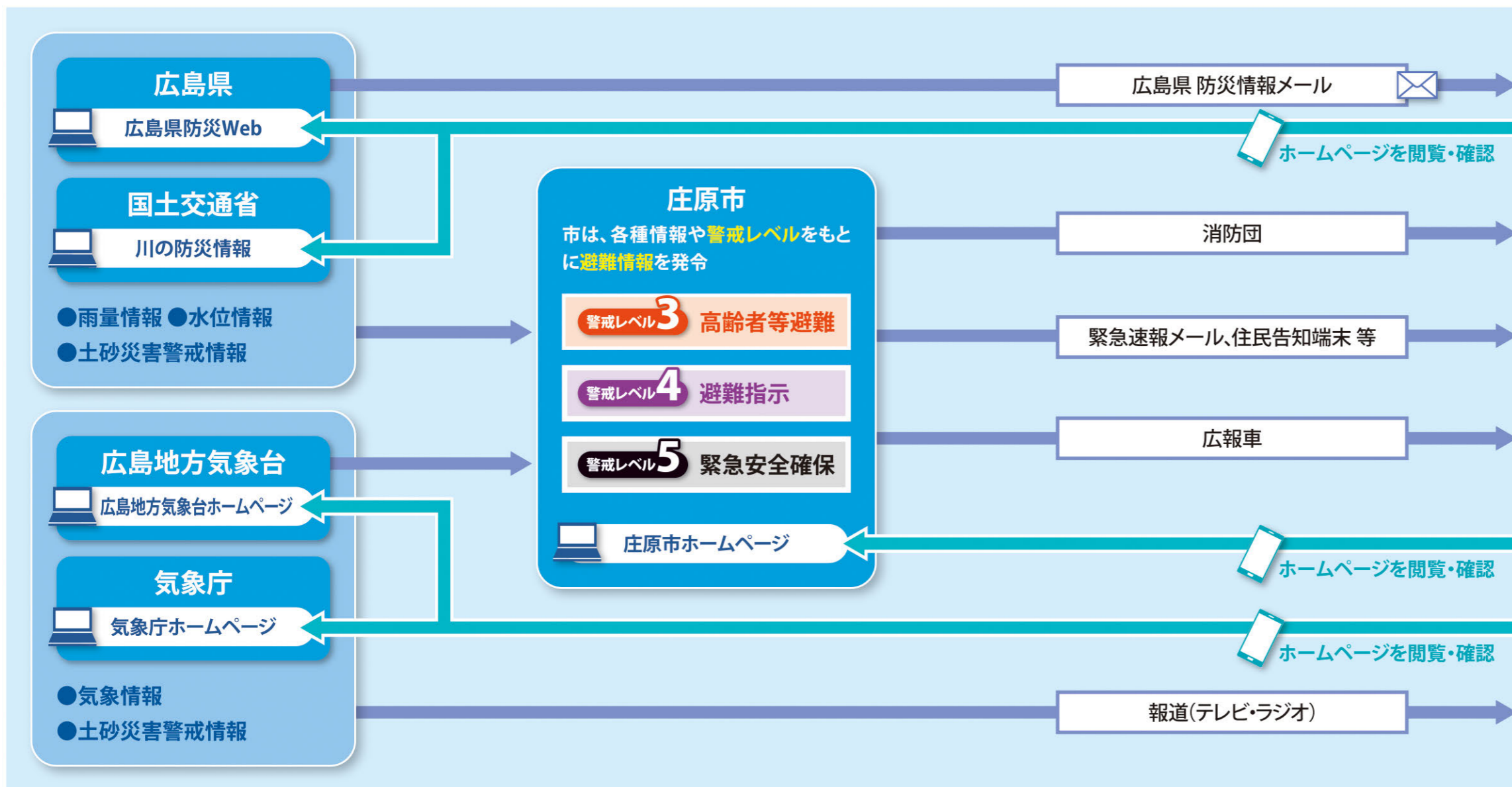
いざというときには、ただちに避難しなければなりません。そのようなときに備えて、非常持ち出し品を常備しておきましょう。

避難のとき、両手が自由に使えるようにリュックサックなどにまとめましょう。

<p>食料品</p> <p>飲料水、缶詰、レトルト食品、赤ちゃんがいる人は粉ミルクと哺乳瓶など。</p>	<p>医薬品</p> <p>ばんそうこう、消毒薬など。普段飲んでいる薬も忘れないように。</p>	<p>感染症対策</p> <p>マスク、体温計、手指消毒液など。</p>	
<p>衣料品</p> <p>衣類、下着、タオル、雨具、毛布や寝袋など。</p>	<p>貴重品</p> <p>現金、通帳、印鑑、身分を証明できるもの。</p>	<p>日用品</p> <p>懐中電灯、予備電池、マッチ、ライターやロウソクなど。</p>	<p>ラジオ</p> <p>携帯できるもの。</p>

情報の伝達と避難

災害発生のおそれがある場合、市から避難に関する情報を発信します。
また、市をはじめ様々な機関からテレビやラジオ、インターネット等を使って気象情報や防災情報が発信されます。
これらの情報を上手に活用し、安全な避難につなげましょう。



台風や長雨など、大雨が予想される時は…

- 数日前から**
- テレビ・ラジオやインターネット等で情報を収集。
 - 防災マップを使って避難方法を再確認。
 - 風水害に備えてを参考に家の周りを片付けましょう。

- 前日から**
- 天気予報などで、今後の推移が発表されます。

気象庁/危険度を色分けした時系列(例)

岩泉町	今後の推移(■警戒級 ■注意級)									
	30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
発令中の警戒・注意等の種別	3-8	8-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	
1時間最大雨量(ミリ)	16	30	40	50	80	80				
大雨(しずく量)										浸水注意
大雨(土砂災害)										土砂災害警戒

明るうちに避難しよう!

避難経路に危険がある場合や避難場所までの距離がある地域にお住まいの方、避難に時間を要する方は、空振りをおそれず、明るうちに避難しましょう。

- 警戒レベル3 高齢者等避難が発令されたら**
- 避難に時間がかかる高齢者などは避難を開始。
 - 避難場所まで距離がある地域では避難を検討。
 - その他の人は避難準備。

- 警戒レベル4 避難指示が発令されたら**
- 危険な場所から全員避難!
 - 安全な避難が難しい時は、家の2階以上、がけから離れた部屋など、少しでも安全な場所に避難。

- 警戒レベル5 緊急安全確保が発令されたら**
- 命の危険 直ちに安全確保!

インターネットなどによる防災情報の入手先

広島県防災Web

- 災害による被害の防止や軽減などのために必要な気象情報などを提供しています。

URL <http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/>

国土交通省 川の防災情報

- 全国の雨量や水位、洪水予報に関する情報を提供しています。

URL <https://www.river.go.jp/index>

広島県防災情報メール通知サービス

- 気象や雨量など防災情報をメールで配信するサービスです。

URL <http://www.bousai-mail.pref.hiroshima.lg.jp/>

庄原市

- 避難場所の情報や各種生活情報を提供しています。

URL <https://www.city.shobara.hiroshima.jp/>

広島地方気象台

- 気象に関する警報・注意報を23市町ごとに発表します。

URL <https://www.jma-net.go.jp/hiroshima/>

気象庁

- 全国の気象や災害、洪水予報に関する情報を提供しています。

URL <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

〈登録方法〉

- ①上記URLにアクセスして、トップページの「登録」ボタンをクリックしてください。
- ②表示されるページの案内に従って利用登録を行ってください。

本サービスは無料でご利用いただけますが、メール受信に必要な通信料金は利用者の負担になります。

ラジオからの情報入手

- NHK 広島 第1放送…………… 庄原:1161kHz/東城:792kHz
- NHK 広島 第2放送…………… 庄原:1359kHz/東城:1602kHz
- NHK FM 広島…………… 西城:85.1MHz/東城:83.3kHz
- 中国放送(RCC)…………… 庄原・東城:1458kHz
- 中国放送(RCC) FM…………… 94.6MHz(一部地域)